

【学校教育目標】

「根気」「勇氣」「元気」  
【山の手小・松ヶ枝中・小中一貫教育目標】  
「つなぐ」

- 主体的に学びつづける児童・生徒
- 礼儀正しい児童・生徒
- 元氣よくたくましい児童・生徒



ときわ  
常盤

小樽市立松ヶ枝中学校  
小樽市最上1丁目31-1

ホームページは  
こちらから



## 自分をつくる

校長 柳原 功美

校舎がしんと静まりかえっていた朝、始業式の日を迎えました。玄関では、担任の先生たちが「おはよう」「元氣だったかい?」「背が伸びたんじゃないか?」と声をかけながら、頭やコート、かばんについた雪をそっと払っています。生徒たちはじっと立ちながら、少し照れくさそうに、そしてやがて笑顔になり、一人ひとり校舎に入っていました。冬の空気に包まれた松ヶ枝中学校に、たくさんの花が一気に咲いたような幸せな風景でした。

三学期は、一年のまとめの学期であり、新しい春に向けて準備の時間です。それは同時に、自分自身をもう一度つくり直す時間でもあります。これまでの自分の成長を振り返りながら、挨拶を大切にすること、時間を守ること、人を思いやること・・・毎日の小さな行動を徹して大切にしていくな心の強さが、この一年の「自分」をつくりあげていきます。松ヶ枝中学校の生徒一人ひとりが、いい顔で、自分との勝負に挑んでほしいと願っています。じっとしていても春は平等にやってきます。しかし、厳しい冬に耐え、何かに挑んだ分だけ、その人の春はより希望と期待に満ちたものになるはずでず。

二学期終業式で、生徒会生活専門委員会の皆さんが全校生徒に呼びかけ、「松中いじめゼロ宣言」を発表してくれました。この宣言は「何のためにあるのだろうか」「自分はどうか」と一瞬一瞬、自分に問いかける強さを持つこと。それこそが、自分の心との戦いであり、よりよく、より広く、より深い自分をつくっていく力になります。

ルール、マナー、そしてモラル。

「これでいいのか、自分」と問い続けながら、仕上げの三学期を悔いなく過ごしてほしい。自分の可能性を信じ、成長して行ってほしいと思います。希望の春を、自分自身の努力で輝かせるために。

### 図書館からこんにちは

～ 心に届く一冊をあなたに ～

#### 「本でした」

又吉直樹 ヨシタケシンスケ 著

みなさん今年も読書を楽しみましょうね!!というわけでご紹介するのは、お笑い芸人の又吉直樹さんと絵本作家のヨシタケシンスケさんのお二人が書いた本です。

前作の「その本は」と同様、独特のユーモアとセンスがギュッと詰まった一風変わった短編集といったところでしょうか。ヨシタケさんのイラストも多く書かれていて読みやすく、クスッと笑えて、ちょっぴり切なくて、少し不思議な、そんな「本でした」。



文責：司書 上田江里子

### FM 小樽出演とスポ雪への意気込み

2月22日(日)に開催される「第13回国際スポーツ雪かき選手権」に参加する1年生の荒又さん、羽沢さん、鎌田さん、河地さんの4名が、2月8日(日)午前10時45分放送予定のFM小樽に出演しました!番組内では、今回が初参加となる「スポ雪」への挑戦の意気込みなど、率直な気持ちを自分の言葉で伝えていました。

この大会を通して、日ごろ子どもたちを見守ってくださっている地域の皆さまへ、感謝の気持ちを形にできる機会となることを願っています。松ヶ枝中からは生徒会チームも参加します。

2月8日(日)の放送、どうぞ、お聴き逃しなく!



## 松中生の活躍



### 【男子バレーボール部】

●令和7年度 吉村杯バレーボール大会 優勝

### 【女子バレーボール部】

●令和7年度 吉村杯バレーボール大会 3位

### 【令和7年度小樽市小中学校書写展】

#### 〔優秀賞〕

1年1組 羽沢 衣葉 北條 篤大

1年2組 佐々木 結望 佐藤 有芽

森塚 彰

2年1組 上林 晴花 萩原 未侑

酒井 彩羽

2年2組 小野寺 志歩

3年2組 佐々木 悠風

#### 〔入賞〕

1年2組 武藏 くるみ

2年2組 碓井 花咲 美濃 千璃

3年1組 世戸 愛菜

3年2組 押上 愛

#### 〔入選〕

1年1組 太田 紗蘭 吉田 優芽乃

1年2組 荒又 梨乃 石井 杏奈

2年1組 岩崎 陽萌音 野澤 美緒

笈田 翔琉

2年2組 佐藤 乃那 佐藤 遼空

野澤 南緒 松井 紬

3年1組 鈴木 紅来 谷川 美月

中村 彩巴 森 七彩

3年2組 石川 咲紀 上田 遥

金一 そら 木下 かのん

鈴木 凜和 野田 華里奈

長谷川 遼

## スマホ教室 (入船六三町会)

昨年の12月13日(土)、14時から16時まで入船六三町会の会館で「スマホ教室」が行われ、本校からも4名の生徒(1-1北條篤大さん、2-1野澤美緒さん、2-2野澤南緒さん、美濃千璃さん)がジュニアインストラクターとして参加しました。

この「スマホ教室」は、札幌学院大学のまちおこし研究会が主催し、スマホをうまく使えない高齢の方に便利な使い方などを教えることを目的としており、優しく接する松中生に対し、喜びと感謝の声が寄せられていました。



## 行事予定

- 1日(日) 第25回小樽市中学校アートフェスタ展
- 2日(月) ALT来校週 PTA事務局会議
- 6日(金) 定例職員会議
- 7日(土) 第50回小樽地区冬季バドミントン大会
- 9日(月) 研修日 スクールカウンセラー来校日
- 10日(火) 公立高校推薦入試
- 11日(水) 建国記念の日
- 12日(木) 私立高校A日程下見  
公立高校出願変更状況の発表(最終)  
道立特別支援学校(高等部)合格発表
- 13日(金) 1・2年学年末テスト  
私立高校A日程入試
- 14日(土) 私立高校A日程入試
- 16日(月) 私立高校B日程下見 ALT来校週
- 17日(火) 私立高校B日程入試  
第1回小中合同学校運営協議会  
兼第4回学校運営協議会(本校)
- 18日(水) 職員会議 私立高校B日程入試  
定時退勤日  
公立高校推薦入試合格内定者の通知  
(この日まで)
- 19日(木) 職員会議 定時退勤日
- 20日(金) 小中一貫教育推進委員会(本校)
- 22日(日) 第13回国際スポーツ雪かき選手権  
(本校)
- 23日(月) 天皇誕生日
- 25日(水) 草の根教育実習(~27日(金))
- 26日(木) 研修日

### 小樽市読書感想文コンクール表彰式での代表謝辞 (2年1組 田邊 勤太さん) ※スペースの関係上、内容の一部を抜粋して掲載

ただいまご紹介いただきました松ヶ枝中学校2年の田邊勤太です。この度は、このような賞をいただき、また、このような場に立たせてくださったことに感謝の気持ちでいっぱいです。わたしが書いた読後の感想が審査された方々に伝わったことがわたしにとって何よりもうれしかったことです。

わたしが読んだ本は住野よるさんの『君の隣臓を食べたい』です。わたしは限られた命を意識して生きるという部分ではなく、「誰かと心を通わせることが生きるということ」という桜良の人生観に強く心を動かされました。

感想文にも書いたのですが、わたしにとって生きるということとは、ただ食べて寝るといふようなことだったのですが、桜良にとっての「生きるということ」がわたしにたくさんを教えてくださいました。桜良のように、誰かと心を通わせることで、自分と違う人生を生きている誰かの人生から学びを得ることができるという、わたしがこれまで考えていなかったことを桜良の生き方から学ぶことができました。自分自身が成長するために何をしたら良いのか。その答えは「人とかかわること」です。人とかかわることによって、わたしはわたしの思考の幅を広げ、人として成長していくことができる……。わたしはこの本からこれからのわたしの人生を豊かにする大きなことを学びました。

本を読むということは、自分の知識や価値観、想像力の範囲を超えたものに出会っていくということだと思います。そしてそれは、これからの人生を豊かにしていく力になっていくものだと思います。一冊の本がわたしの生き方を変えるきっかけを作ってくれました。わたしはこれからもいろいろな本を読み、本の中でいろいろな人生と出会っていきたいと思います。